

池田浩士氏講演会
歴史に見るボランティア～私たちの今を思いながら～

日時 2月11日(金・祝)10-12時
会場 大津市市民活動センター
料金 500円(資料代) ※要予約
申込 077-527-8661 大津市市民活動センター
またはお名前、連絡先を記載して moveinfo@movementotsu.com まで



池田 浩士(イケダヒロシ) さん
日本のドイツ文学者、評論家、京都大学名誉教授。専門のドイツ文学ではルカーチ・ジェルジやナチズムに関する研究や翻訳を精力的に行う。

「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～」オンライン上映会・座談会

上映会 2022年2月3日(木)～13日(日)
座談会 2022年2月6日(日)10:00～12:00
座談会プログラム：
・講演「マイクロプラスチック・ストーリーができるまで」
環境活動家・ドキュメンタリー映像作家 佐竹敦子さん
・報告「琵琶湖とマイクロプラスチックについて」 県内高校生
・プラスチックQ&A 滋賀県立大学教授 徳光勝久さん
参加費無料 ※申込者に参加方法を連絡します
申込 件名に「上映会申込」または「2/6座談会申込」として moveinfo@movementotsu.com まで

シンポジウム「これからのエネルギーと私たちの暮らし」

日時 3月12日(土)13:30～16:00
内容 講演・報告・パネルディスカッション
会場 スカイプラザ浜大津
参加 無料
申込 077-527-8661 大津市市民活動センター
または moveinfo@movementotsu.com まで



基調講演 **飯田哲也(イイダ・テツナリ) さん**
認定 NPO 法人 環境エネルギー政策研究所 (ISEP) 所長。
原子力産業に従事後に原子カムラを脱出し、北欧での再エネ政策研究活動後に現職。

音楽絵本でリトミック
～親子の笑顔を育む
楽しい時間～



日時 2021年3月6日(日)
10時～11時10分～12時20分(約1時間程度)
会場 大津市市民活動センター
対象 しっかりお首のすわった生後3ヶ月～就学前まで
参加費 1000円(2人目からは500円)
定員 各25名(要予約)
申込 077-527-8661 大津市市民活動センター
※予防接種後72時間以内のご参加はお控えください。



vol.23 大事な暮らしの中にある
“CHECK IT OUT! (注目・見逃さないで!)”
なヒト・モノ・コトを発信する情報誌
「ちえけらっ」vol.23

SDGs5 ジェンダー平等を実現しよう

特集：【コラム】世界に比べて日本が遅れてる点、ジェンダーギャップとは
【取材】女性の選択肢が豊かになる社会や仕組みに
ジェンダーも不登校も含めて自分を出せ場所づくりを

2015年、国連でSDGsが採択されてから、日本のジェンダー平等の評価はずっと 赤信号でした。特に政治や経済での男女の格差は世界でもとても低い状況です。今回のミニコミでは、日本のジェンダーギャップ指数(GGI)と、ジェンダー平等に関心が高い企業として「びわ湖花街道(株式会社国華荘)」さまと、LGBT+に取り組むNPO法人「寺子屋共育塾」さまにお話を伺いました。



大津・SDGs 協働支援チャリティプロジェクト 2021 ご協賛企業・団体

叶 匠 寿 庵

コープ自然派

SHIGATAN
Shiga Junior College

滋賀県信用保証協会

SOMPOひまわり生命

BEST PARTNER
大樹生命

さあ、子どもたちと学びの旅に出かけよう
まちのきょういく委員会

みづほホームセンター
京滋

一般社団法人
滋賀グリーン活動ネットワーク

小林事務機株式会社

SHIGA BANK

DYNAMIC SHOKEN
株式会社 昭建

SEIWA
正和設計
株式会社

一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

Binako Kisen

京都中京区 みんなの居場所
学び舎 傍楽

滋賀銀行 保険共同募集会社
レーク商事株式会社

株式会社まちづくり大津

**みんな楽しく!!
ベビーリトミック**

会場：明日都浜大津1階
対象：生後3ヶ月から就園前頃まで
参加費：1回500円
問合せ：070-5266-2890
講師：七蔵司きよみ
(保育士・リトミック講師)

大津リトミックグループ
保育士・音楽教室講師によるメンバー構成で
毎月、明日都浜大津で開催しています。

Fair Trade Shop
Monday & Saturday
9:00-19:00
大津市市民活動センター
大津市浜大津4-1-1
077-527-8661

広告募集中
詳細はセンターまで
お問合せ下さい

冬のチャリティイベント

チャリティコンサート
フルーツだけの音楽会
～フルーツオーケストラの魅力～

日時 2022.1.30 (sun) 開場/12:45 開演/13:00

会場 スカイプラザ浜大津7階
料金 前売り1800円 当日2000円
ペア割3400円

チケット購入 大津市市民活動センター窓口
又はネット https://peraichi.com/landing_pages/view/20220130



チケット購入はこちら

出演 フルートオーケストラ
湖笛の会

1982年、滋賀県に縁のある女性フルーティストにより結成される。フルートオーケストラは、主にメロディを受け持つコンサートフルートを中心に、高音部にピッコロ、ソプラノフルート、中音部にアルトフルート、低音部にはバスフルート、コントラバスフルートで構成されている。



ジェンダー ギャップ指数 とは

ジェンダーギャップ指数 (GGI) とは、世界経済フォーラムが政治・経済・教育・健康の4分野について、男女格差を点数化しているものです。

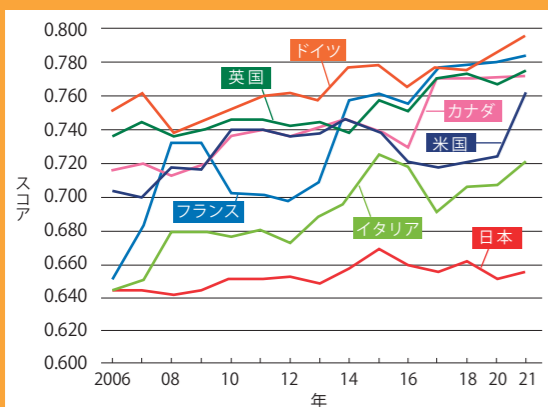
4分野それぞれの点数の平均値を総合点としてランキングが作成されています。

先進国、発展途上国の中で日本はなんと

156か国中 120位

経済 117位 政治 147位 教育 92位 医療 65位

政治の分野は世界のワースト 10位に入っており、日本社会の男女の不平等状態は、国際的な信用さえ失墜させ得るレベルといわれています。



2006年以降のG7のGGI総合点の比較



女性の選択肢が豊かになる社会や仕組みに

—日本は女性が活躍するのはまだまだ難しいと言われてます

佐藤：私は言葉も強いし弱音を吐くことはないけれど、優しいガラスのハートのような人もいます。女性の中でも様々なので、同じ尺度で平等を考えるより、それぞれの違いを認め合うことを考えるほうが大切だと思います。男だから女だからではなく、その人らしさを大切に、といつも思っています。

—女性がキャリアを積めるような環境とは

佐藤：「やりたくてもできない」現状がある人もいます。仕事は好きで続けたくても、役職を与えられては困るという人もいます。キャリアを積めるように環境を整えてあげることはもちろん大事だけれども、一方で活躍する場所は他にもあるので、様々な選択肢があることを周りが教えてあげることも大切だと思います。女性が役職を持つと、女性ならではの細かく気付くことが良い時と、裏側まで考えてしまったりしんどくなったり、周りを気にさせてしまったりする時があります。自分に合った職場で、みんなが幸せでいられると良いですね。

「子どもがおいてきぼりにならない社会へ」を法人理念に掲げて、放課後の児童健全育成事業—いわゆる「学童」の運営や、日中や夜間の居場所支援を行うNPO法人寺子屋共育轍（以下「轍」(わだち)）さんは今、セクシャルマイノリティの悩みを抱える子どもたちの居場所づくりへと活動を広げようとしています。代表理事の蔵田翔（くらたしょう）さんに伺いました。

蔵田：活動を通して、自分の性に対する違和感であったり、好きになる対象であったり、ジェンダーの悩みを抱える子どもがいることに気づくようになりました。意外と多いんですよ。



—どんな時に気づかれるんですか？

蔵田：例えば、服が汚れたり、雨に降られたりした時に衣類をたくさん用意しているんですけど、水遊びをした後に「どれでも好きな服を着ていいよ」と言った時などに、男の子の服を選ぶ女の子がいたり、スカート履きたい男の子がいたりします。轍では、誰でも好きな服を着れば良いんです。つまりはLGBTQ+ ですね！

—男らしくても女らしくてもなく、「自分らしく」ですね。

蔵田：「男の子（女の子）に生まれたかった」という声も聞きますが、どれに当てはまるか分からないという子だっています。今日は女性でいたいけど明日は違うと変化する子もいる。なので、ジェンダーレスファッションの様に性別に捉われないことが重要なんです。

ここは自分自身でいられる居心地のいい場所だと思えることが大事だと思います。

「女性の活躍」と言われて久しい中、「旅館業というひとつの産業を通して、お客様に安全安心を提供しながら、地域の雇用を創出し、治安も含めていい街にする」ことを使命とされている、雄琴温泉の老舗、びわ湖花街道（株式会社 国華荘）代表取締役社長の佐藤祐子（さとう ゆうこ）さんにお話を伺いました。

—国際的にみると、女性の首相や、閣僚のほとんどが女性という国もありますね

佐藤：日本の選挙の仕組みは、少し変えないといけないのではないかと考えています。現代は、公約などの主張はネットなどから広げることでもできますよね。供託金をもっと下げなければいけないし、また議員になってからも、それまでの仕事も継続できるような仕組みが必要だとも思います。夫婦別姓や同性婚についても、全てルールが変わることで社会が変わっていきます。これまでのことを否定するのではなく、より良い方向に変わっていくとよいと思っています。



—SDGs や地域貢献についてどう思いますか

佐藤：2030年までにどれだけ変わるのかわかりませんが、経済界の動きはなかなか進んでいないように思います。私自身は、もっとお客さんのこと、地域のこと、従業員のことを考えていきたいですし、女性に関しては、駆け込み寺やシェルターなど我々でも何か支援できることを考えていきたいです。

ジェンダーも不登校も含めて 自分を出せる場所づくりを



—ジェンダーも含めて、これからやってみたいことについておしえてください。

蔵田：ジェンダーに捕らわれない概念を広げるために、フリーペーパーの作成・配布や、勉強会、交流会などの開催を予定しています。そこから輪が広がればコドモノミカタになってくれる人が増えていけば、子どもたちの居場所も広がります。

誰もが自分らしく生きられる社会をつくるために、社会環境へのアクション、家庭へのサポート、個人へのヒアリング・ケア、この3つが大切だと考えています。まずは地元の瀬田北学区から始めていきたいですね。

福祉というと「支援者が対象者に何か施すこと」というイメージが強い。ましてや子どもに対して支援したいという支援者の思いは、子どもたちには余計なお世話だったということもあります。

子どもは大人の意図に敏感なので、まずは楽しいから参加していたら、気づけば悩み事が解決していた、という感じで、福祉のエンターテインメント化を模索しています。地域の方からは「子どものことで何か悩んだら、とにかく轍さんに行ってください」と言われるところを目指したいですね。

👉 LGBTQ+ とは！

「男性」「女性」に限らない性の多様化を表す言葉。LGBT 差別といった言葉があるように、性の多様化が遅れている現代において「普通」ではないことを指摘し好奇の目を向けることは、ジェンダー平等を遠ざける原因の一つになる。